

苦しんでいる人を 救うために

避難所を巡回診療する小川赤十字病院救護班

令和6年1月、大きな地震が発生し石川県能登地方を中心に甚大な被害をもたらしました。日本赤十字社埼玉県支部は発災直後から全力で対応に当たりました。

日本赤十字社埼玉県支部は日頃から災害に備えています。

災害救護活動

災害が発生した際、救護班の派遣や救援物資を配付するなど迅速に活動します。平時では、いつ起こるか分からない災害に備えて訓練を実施しています。



秩父地域で実施した近隣支部との合同訓練

防災教育

災害時の「自助」「共助」の力を高めるために防災教育事業を学校や地域で実施しています。



防災授業

防災セミナー

そのほか、救急法等の講習・青少年赤十字・赤十字ボランティアの事業を展開しています。

これらの活動は皆さまからのご寄付によって成り立っています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いいたします。

被災者への救援物資の配付 令和4年度 配付実績

平時から市区町村へ配備し、火災・洪水などの災害時に被災者へお配りしています。



布団
セット

314セット



毛布

277枚



生活用品
セット

163セット

市区町村への災害救護資機材の配備

地域の防災力の向上を目指して、市区町村に救護資機材や救援車両を配備しています。

救援車両



ポータブル蓄電池・
ソーラーパネルセット



LP ガス発電機・
コードリールセット



手回し充電式防災ラジオ



移動炊飯器



自動ラップ式簡易トイレ



これからも、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

